

<過去1週間の動き>

(6月13日～6月19日)

USD/TRY: 23.4803～23.7164

TRY/JPY: 5.87～6.02 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は対ドルで横ばいとなる一方、対円では日銀会合後の円安加速を受けてやや持ち直した。リラは5月28日に実施された大統領・議会選挙後、連日のように史上最安値を更新していたが、ようやく安定化の兆しが見えてきた形だ。経済政策の司令塔がシムシェキ財務相、エルカン中銀総裁という共に米系の投資銀行での勤務経験のある人物に置き換わったことで、これまでの低金利・信用拡張に依存した経済政策運営から、正統派の経済政策運営への転換が図られるかを市場が見極めようとしているように思われる。当面の焦点となるのは、やはり、6月22日のトルコ中央銀行の金融政策決定会合である。正副大統領の発言を見る限り、今会合でのトルコ中銀の大幅利上げに対しては政権からも「ゴーサイン」が出ていると考えて良いだろう。エルドアン大統領は6月13日にアゼルバイジャンからの帰国の途上で記者団に対し「財務相が中央銀行とともに迅速に手を打つことを受け入れた」と語っている。ユルマズ副大統領も6月15日に大統領官邸で開かれた政府経済チームの会合において、「政府はインフレを抑制するための措置を講じ、競争力と生産性を高めるうえで自由主義の規則に従う」と述べたと伝わっている。ブルームバーグ集計の民間エコノミスト予想中央値では21名中8名が政策金利を20.0%に引き上げると見込んでいる(6月19日時点)。実現すれば11.5%ポイントもの大幅利上げとなる。もっとも、予想は非常に広範囲に分布している(右図参照)。短期金利市場では6月19日時点で17.5%への金利引き上げ(9%ポイントの金利引き上げ)という織り込みとなっている。いずれにせよ大幅な引き上げが見込まれている形だが、重要なのは実際の金利引き上げ幅よりも、今後、実質政策金利を明確にプラスに転換させるまで利上げを続けるというコミットメントであろう。

この他の重要な動きとしては、6月16日に大手格付会社Moody'sがトルコ国債に関する格付けのレビューを見送ったことが挙げられる。同社のトルコ国債に対する格付けは※B3(※見通し: 安定的)と、シングルB格でも最低水準であり、仮に今後引き下げ方向で見直しが行われるとすれば、※Caa格となってしまう(※無登録格付け)。Moody'sが新経済対策チームの選任に伴う変化を見極めようとする姿勢を示した形だ。次回のレビューは12月15日に予定されている。<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
6/16	08:00	インフレ期待(12か月後)	6月		30.65%	29.84%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(6月20日～6月26日)

USD/TRY: 22.00～25.00

TRY/JPY: 5.50～6.30

来週1週間のリラ相場は、6月22日のトルコ中銀の金融政策決定会合の結果次第で大きく上下に変動する可能性がある。上述の通り、市場の織り込み自体を見極めるのが非常に難しい状況にはなっているものの、今後、実質政策金利を明確にプラスに転換させるまで利上げを続けるというコミットメントが示されれば、今会合での利上げ幅の多寡は中長期的なリラ相場の動向にとってさほど重要ではないように思われる(短期的な市場の反応として、政策金利がブルームバーグの予想中央値の20%に届かなかった場合にいったんリラが下落する可能性はある)。一方、トルコ中銀の政策スタンスの転換が鮮明になったとして、正統派の政策運営への転換を判断するには財政政策や今後の成長戦略も見極める必要がある。ユルマズ副大統領は9月に中期成長プログラムを発表するとしている。トルコ政府から発表されるこうした政策の内容を慎重に見極める必要があるだろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

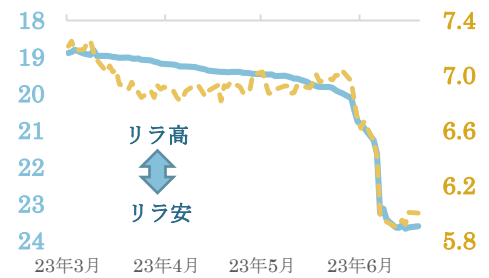
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
6/22	12:00	政策金利発表		20%		8.5%
6/23	08:00	貿易収支(USD)	5月	-12.70b		-8.74b
	09:00	外国人観光客(前年比)	5月			29%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

トルコ・リラの推移

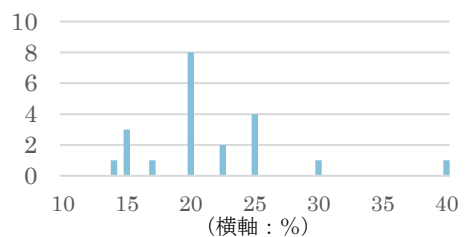
実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



トルコ中銀6月会合後の政策金利予想の分布(*)

(人数)

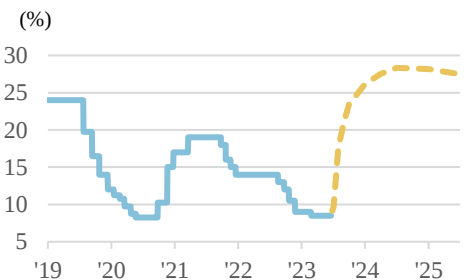


* 現在8.50%の1週間物レポレートが何%に引き上げられるかについて、21名のエコノミストの予想の分布を示している。2023年6月19日時点。

1週間物レポレートの推移

実線: 実績

点線: 市場の織り込み(*)



* 市場の織り込みは、OISスワップカーブから求めた。2023年6月19日時点。

(資料: ブルームバーグ)

<文責>

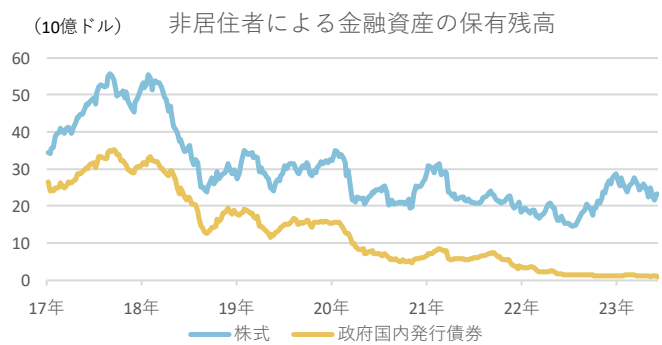
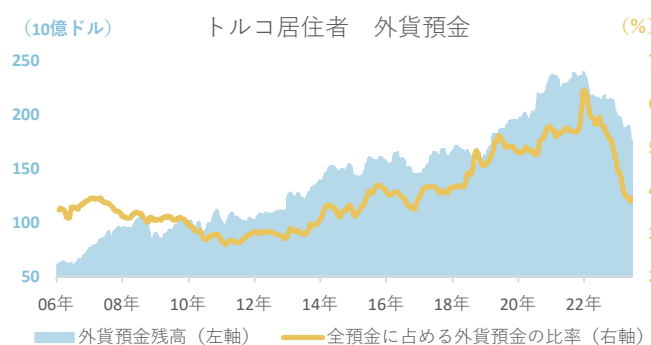
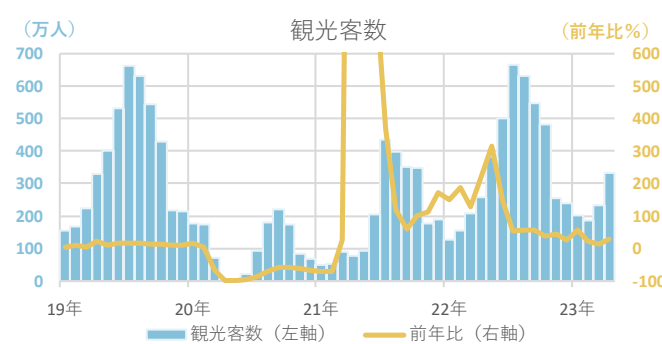
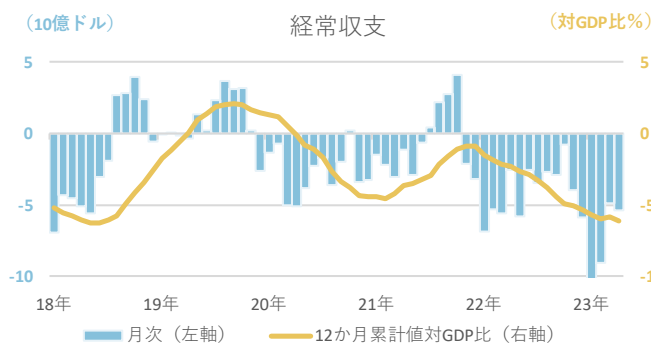
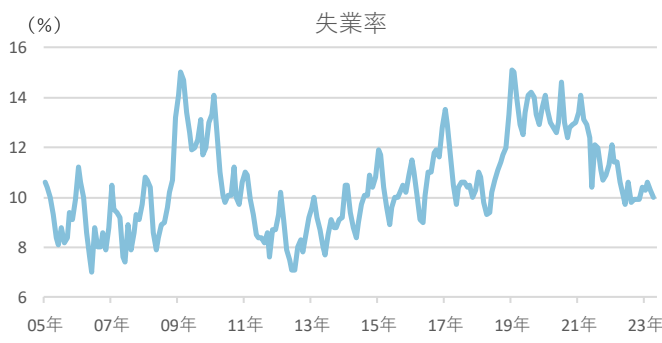
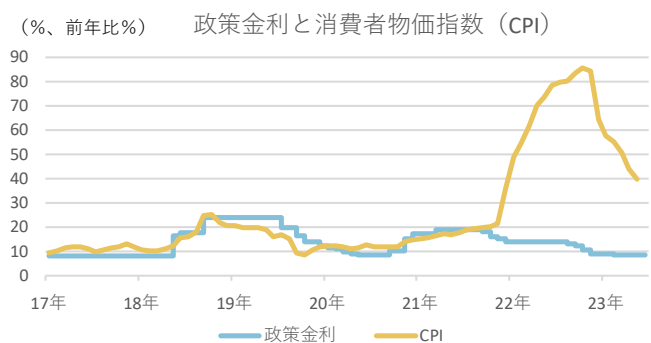
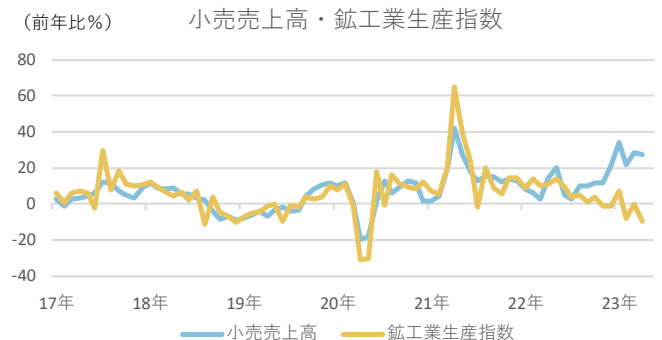
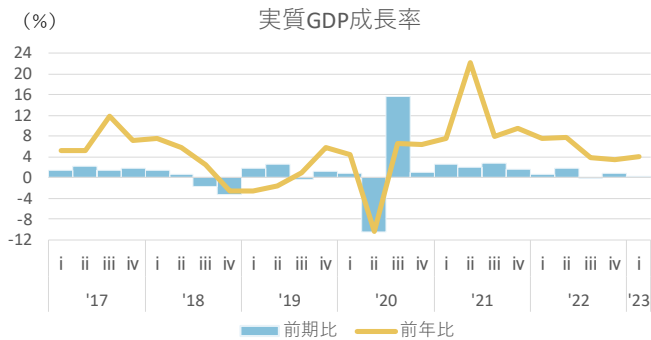
欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

<主要経済指標の推移>



(資料: トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。